

# 飲水思源

町長

松岡市郎

勢い余って寮整備？ でも信頼関係が大切！

2月上旬の北海道新聞夕刊に「町は今年度に4億円以上をかけて学生寮を整備…、中国人留学生らを受け入れる」という記事が載っていた。私もまったく気がつかなかった。翌日の朝、「町長、こんな記事が…」と副町長が新聞を持って飛んできた。あまりにも熱心に受け入れについて語ったため、このような表現になって掲載されてしまったのだろう。現在具体的な建設計画はなく、町民の皆さまに誤解を与える結果になってしまったことをお詫び申し上げます。

人口が減少時代に入り、自慢の専門学校及び道立高等学校にしても学生や生徒の確保は相当厳しい時代に入っている。これらの学校が維持運営されていることは中心市街地をはじめ町の活力向上に大きく貢献している。

昨年は北工学園と連携し、台湾、韓国からの学生らを対象として日本語研修を実施し大変好評であった。今年も継続実施する計画であるが、北工学園には中国からも「学生を送りたい」と申し出があった。

毎年100人規模で送り、日本人とともに生活する全寮制が希望のようだ。真意を確認するため、学校、町議会、町か

ら関係者が実際に現地責任者に会って話を聞いてきた。日本語学習のための研修派遣は強い意思であったという。北工学園では、24年からの受け入れ開始に向けて文部科学省の認可を取り、生徒募集を始める計画で、当初は定員60名規模。現在ある男女学生寮の空き室をそれぞれ30室程度ずつ確保して実施することになっている。その後、国内外の学生などの推移を見ながら寮整備などの受け入れ体制を考えることが大切で、まずは相互信頼関係が強固でなければならぬ、と考える。

中国から高額でパンダをレンタルした。「大丈夫かよ。洗ったら真っ白になってしまふのでは…」と言っていた人がいた。笑い話ではあるが、信頼関係が揺らいでいることを揶揄(やゆ)しての話ではある。

日本の人口が減少することはすべての消費が減少することでもある。減少する需用をどこで賄(まかな)うか、それは人口急増している地域の人々の消費で賄うのも一つである。

農業、工業生産物の輸出にしても観光客の誘致にしても、持続できる交流、交易の原点は、信頼である。

## 文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



トイストーリー3  
(アニメ、DVD)  
ウォルト・ディズニージャパン

カウボーイ人形のウッディと仲間たちの持ち主アンディが大学進学のために家を出ることに。大好きなアンディとの別れが近づいたある日、おもちゃたちは手違いで保育園に寄付されてしまった。もう一度子どもと遊べる!と喜びもつかの間、そこはおもちゃを破壊しまくる凶暴な園児たちが集まっていた。シリーズ1、2のDVDも同時入荷。(103分)



いちにちぶんぼうぐ(絵本)  
作/ふくべ あきひろ 絵/かわしま ななえ  
刊/PHP研究所

毎日使っている文房具。「文房具ってかこそうだな。よし、いちにち文房具になってみよう」。いちにちホッチキス! 「ガキッ」「あいたたた」。うまくとめられなくて、はがボロボロ。他にもいろいろな文房具になってみる。メジャー、えんぴつ、3色ボールペン、しおり…。日々がらんの文房具の気持ちになれる絵本。



ばんば憑(つき)  
(一般書)  
著/宮部みゆき 刊/角川書店

湯治旅の帰途、雨で足止めになった若夫婦が老女との相部屋を引き受けた。不機嫌な若妻をよそに、老女が世話を焼く婿養子の夫に語り出す50年前の忌まわしい出来事とは? 表題作のほか、『日暮らし』の政五郎親分とおでこが謎を解き明かす「お文の影」、『あんじゅう』の青野利一郎と悪童三人組が奮闘する「討債鬼」など、心騒がす全6編。